

ウミヘビはヘビ？魚？

ウミヘビと名前がついている動物には
ヘビの仲間と魚の仲間のそれぞれがいます

ウミヘビという名前の動物には、ヘビの仲間であるウミヘビと、魚の仲間であるウミヘビの両方がいます。同じウミヘビという名前でも、両者は体のつくりが大きく異なります。

ハチュウ類であるウミヘビは、もともとは陸にすんでいるヘビから進化したものです。そのためエラがなく、水中では呼吸できません。魚のウミヘビは、魚なので当然水中で呼吸ができます。

ハチュウ類のウミヘビにはヒレがありませんが、代わりに尾がオール状になっていて泳ぐのに適した形になっています。

魚のウミヘビのウロコは退化して、ほとんど見えなくなっていますが、ハチュウ類のウミヘビではウロコが目立ちます。

なお、ハチュウ類のウミヘビは、猛毒をもつコブラの仲間であり、毒をもっているものが多くいます。魚のウミヘビには毒はありませんが、鋭い歯をもっているものがいます。海の中では、どちらのウミヘビにも手をださないほうがいいでしょう。

ハチュウ類



マダラウミヘビ

魚類

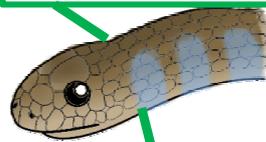


ゴイシウミヘビ

ウミヘビという名前の生き物には、ハチュウ類と魚類の両方がいる

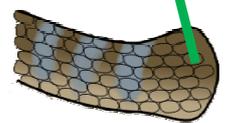
ウミヘビ(ハチュウ類)の特徴

ウロコが目立つ



エラはなく、水中では呼吸できない

尾がオール状になっている種類が多い



エラブウミヘビ

ウミヘビ(魚類)の特徴

エラがあるので、水中で呼吸できる



ウロコは退化

ヒレがある (ヒレが目立たない種類もいる)

尾の先端は尖る



ダイナンウミヘビ